



WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2600地区 上田ロータリークラブ
(創立1959年11月12日)



UNITE
FOR
GOOD

よいことの
ために
手を取りあおう

2025-2026年度 国際ロータリーメッセージ

よいことのために手を取りあおう

R.I.会長 フランチェスコ・アレツツォ

国際ロータリー第2600地区 ガバナー 小林 磨史

2025-26年度 上田ロータリークラブ

- 会長 窪田 秀徳 ●副会長 内河 利夫・飯島 幸宏
- 幹事 湯田 勝己 ●会報委員長 藤森 幸路

第3001回例会 (令和7年10月20日)



ホームページQR

[臨時総会]

議題：2028-2029年度 R I 2600地区ガバナー選出について
「2028-2029年度地区ガバナー候補者」として出田行徳さんが承認されました。

[米山奨学金贈呈]

金 セハさん(信州大学
繊維学部 機械・ロボット学科4年)



[会長挨拶]

窪田 秀徳 会長

皆さま、10月18日(土)朝から夜まで、
上田ロータリークラブの社会奉仕
委員会・成澤委員長のもと、上田
ロータリークラブの代表する奉仕
事業活動を昨年に引き続き「原峠保養園」で実施いたしま
したので、そのご報告を申し上げます。



朝からアルティスタ浅間の選手の皆さんのご協力を得、
第一部は子ども達を対象としたサッカー教室を開催しま
した。また、第二部は私たちメンバーによるBBQの振る
舞い、第三部はお菓子和沢山のメンバーからご厚意による
心のこもったプレゼントをお渡しいたしました。まさに
「地域と仲間の“絆”物語」の確かな1ページを刻む、素晴
らしい一日となりました。

本事業には、理事・役員をはじめ、大変多くのメンバーが
積極的にご参加くださり、皆さまの温かいご支援と行動
力に心より感謝申し上げます。また、当日ご参加いただけ
なかった方々の中にも、様々な思いを持って素晴らしい
プレゼントをご用意くださったメンバーが多くおられ
ました。この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。

「原峠保養園の歴史と意義」

「原峠保養園」は、戦後間もない昭和26年(1951年)に
創設された児童養護施設で、家庭の事情により家庭での
養育が難しい子どもたちが、集団生活を送りながら学び・
育つ場として長年地域に支えられてきました。現在も
30名ほどの子どもたちが暮らし、日々の生活の中で心の
安定と社会への希望を育んでいます。

上田ロータリークラブは、過去にこの保養園で奉仕活動
を行ったことがありましたが、諸般の事情で一時期中断
していたこの事業を、昨年度、金子直前会長の並々ならぬ
熱意により再び復活することができました。私も昨年この
事業に参加し関わりを持ち上田ロータリーのメンバーが
心一つなり仲間との絆も深まる楽しめる事業だと感じ、
金子直前が大切にされているその志を受け継ぎ、本年度
もさらに充実した形で実施したいと考え、ブラッシュ
アップして実行することができましたこと、心底大変
嬉しく思います。

「子どもたちの笑顔と“絆”の再生」

当初は緊張していた子どもたちの表情も、サッカーや
BBQを通して次第に笑顔に変わり、元気な笑い声が
園内に響き渡りました。その様子は、私たちロータリアン
一人ひとりにとっても、奉仕の本質を改めて感じる瞬間
となりました。

「園の子どもたちの笑顔のために！」という合言葉のもと、
アルティスタ浅間の選手と指導者の15名の皆さんも一丸
となって子どもたちを楽しませていただきました。心より
感謝申し上げます。

天候にも恵まれ、メンバーである鈴木さんの後押しを

頂き、信濃毎日新聞社の取材にもご協力いただきました。また、東信ジャーナル社さんにも昨年に引き続き取材していただきました。上田ロータリークラブがどんな活動をしているのか？また、どんな志を持っている団体なのか？そして、原峠保養園の存在を改めて知っていただき、地域で支える気づきを発信できる機会になればと考えて情報発信していただけることは本当に大きな価値だと考え、「会報・公共イメージ向上委員会」の藤森委員長さんにプレスリリースの原稿を作成頂き配信いたしました。この事業は、「地域」と「仲間」が一体となった奉仕の具現化であり、「上田ロータリークラブらしい中心的な奉仕事業」になったと思います。重ねてご協力頂きましたメンバーの皆様には感謝申し上げます。また、関わって頂きました全ての皆様にも重ねて御礼申し上げます。「園の子供たちの笑顔のために」この火を消すことなく続いていけることを心より願っています。

「次なる“絆”のページへー地区大会へのご参加のお願い」

さて、来月11月16日(土)には、松本の地にて年に一回だけの「地区大会」が開催されます。

この大会は、地区全体の活動や上田ロータリークラブでは行っていない他クラブの活動や奉仕の精神を学び、自らのクラブの未来を描く1日でロータリークラブを知る絶好の機会です。特に入会3年以内のメンバーの皆さまには、ぜひ積極的にご参加いただき、ロータリアンとしての“絆”をさらに深めて頂けたら幸いです。

共に学び、語らい、そして次なる「地域と仲間の“絆”物語」を紡いでまいりましょう。

さあ、小林ガバナー率いる次のステージが皆様を待っています。

一緒に是非とも行きましょう～(笑)

【メインプログラム】 米山奨学生 金 セハ さん

こんにちは。米山奨学生の金セハです。本日は3度目の卓話ということで、卒業研究についてお話していけたらと思います。



それでは、早速内容に入っていくのですが、まず全体の流れとして、最初に所属についてお話した後、研究室について、それから、研究テーマ、研究の背景、研究の目的、研究の進捗、そして今後の予定といった流れでお話させていただきます。

まずは所属についてですが、皆さんもご存じのとおり、私は現在、信州大学繊維学部機械・ロボット学科のバイオエンジニアリングコースに所属しています。信州大学繊維学部機械・ロボット学科には、機能・機械コースとバイオエンジニアリングコースの2つのコースがありますが、医学に関する研究を行うためにバイオエンジニアリングコースを選択させていただきました。そして現在は脊椎、つまり背骨について研究を行う研究室に所属しています。

次に、研究室についてですが、私は、小関研究室に所属してまして、この研究室では「安全・安心な医療技術を実現する、整形外科疾患の手術シミュレーション」をテーマに研究を行っています。この研究室では、今まで下顎骨の解析を初め、脊椎骨の頑丈性評価や頸運動の表示システム開発、X線CTを用いた非破壊検査などを行ってきていて、現在は側弯症の手術シミュレーションを行っています。

それでは、私の研究についてお話していきます。私の研究テーマは「構造最適化を用いた思春期特発性側弯症の装具(ブレース)の軽量化と快適性向上」です。簡単にご説明すると、皆様が重度のけがをされたとき、病院に行くときと写真のような装具を付けられることがあります。これら装具をより軽く、そしてより不快感のないものにしようというのが私の研究です。

それでは、次に研究の背景に移ってきたいと思います。まず、側弯症とは、脊椎、つまり背骨ですね、がねじれながら横に曲がる病気のことを指します。その中でも、思春期かつ原因がわからない場合には思春期特発性側弯症と呼ばれます。治療法としましては、軽度の場合には経過観察、中等度の場合には装具治療、そして重度の場合には手術が行われます。私の研究室では、ほとんどがこの手術に関する研究を行っているのですが、私はここで装具治療に着目してみました。

装具治療は体を傷めないかつ効果的な治療法として注目されています。適切な治療を行うことで手術を回避できる可能性があります。右の図は現在信州大学医学部が実際に使用している装具でして、重度ではない12歳以下の側弯症患者に対して適切に装具治療を行うことで100%成功するとされています。しかしながら、1日

18～24時間と長時間の着用が推奨されているため、思春期の患者にとって身体的、そして心理的負担が大きいことが問題視されています。その結果、着用時間が短くなり十分な治療効果が得られないケースも少なくありません。

次に、研究の目的についてです。先ほどの問題を解決するために、本研究では、思春期特発性側弯症の装具に構造最適化と伝熱解析を適用することで、軽量化と快適性の向上を実現し、患者の装具に対する負担を軽減することを目的としています。この目的を達成するために、具体的には、下のフローチャートのような手順によって研究を進めていくのですが、まずは、構造最適化と伝熱解析について簡単にご説明したいと思います。

Slide 9：まず、構造最適化とは、ある条件を与えた時に、その条件を満たす最適な形状を提供してくれるものです。左上の図を見ていただくと、左側が与えた条件でして、それに対して右側の形状を出力しています。実際には、バイクのフレームなどに利用されていたりします。次に、伝熱解析とは、ある物体に熱が伝わっているとき、その熱の伝わりを表示してくれるものです。左下の図は鍋のモデルに対して、下から熱を加えているときの状態をシミュレートしているもので、右下の図のように、ある部屋に熱源があるときの熱の伝わり方などを表示することもできます。

Slide 10：それでは、私の研究で構造最適化と伝熱解析がどのように適応されているのか見ていきましょう。まず、構造最適化の部分です。条件設定としましては左側の図のような条件を設定しています。詳しくはお話しませんが、荷重条件、拘束条件、保持ジオメトリ、障害物ジオメトリなどをここで設定していきます。これら条件により得られたのが、右側の図です。かなり軽量化と通気性が向上されているようなモデルであることがわかります。

Slide 11：次に、伝熱解析についてですが、本来であれば、モデル全体に対して伝熱解析を行っていくのですが、まずはきちんと伝熱解析を行えるのか確認するために右の図のような簡易的なモデルで伝熱解析を行ってみました。モデルは空間部と身体部で上下に分かれていて、その間にパッドが挟まっているようなモデルです。

解析結果としては、点線で囲われた部分がパッドが付着している断面なのですが、パッドがない箇所よりも熱が溜まっている、熱が逃げれていないことがわかります。

Slide 12：最後に今後の予定についてです。まず、第一段階として、構造最適化の力学的条件を改善する必要がありますのと、伝熱解析の手法の適正化を行う必要があります。まだまだ条件設定が未完成だということですね。次に、第二段階として、生成されたモデルに対する伝熱解析を行っていく必要があります。そして、最後に第三段階として、フローチャートに沿った構造最適化と伝熱解析による、熱こもりを考慮した最適な装具の生成を行っていきたいと思っています。

Slide 13：以上で卓話を終わります。ご清聴ありがとうございました。

【幹事報告】

湯田 勝己 幹事

1. 地区事務所

2026-2027年度青少年交換長期派遣募集ご案内

小諸浅間RCクラブ事務所・事務局変更のお知らせ
2025-2026年度地区大会「会長・幹事会」開催のご案内
「地区大会信任状」提出のお願い

2. 蓼科RC 合同ゴルフコンペの御礼

3. (株)みずず総合コンサルタント 会葬の御礼

4. 信州民報 上田RCが青少年健全育成で賛助金贈る ボーイスカウトとガールスカウト4団へ

5. 東信ジャーナル

ボーイスカウト・ガールスカウトへ上田RCが賛助金贈呈

6. (株)宮下組 役員就任のご挨拶

7. 上田市障がい者支援課

「ほくが生きる、ふたつの世界」上田市上映報告書

8. 「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金事務局

「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金御礼

9. 例会変更 小諸浅間RC

11/6(木)・27(木) 12/11(木)・25(木) 定受なし

[ニコニコBOX]

小山 宏幸 委員長

飯島幸宏さん 石井懋人さん 伊藤典夫さん 内河利夫さん 尾台修一さん 小幡晃大さん 金子良夫さん 窪田秀徳さん 桑原茂実さん 小林浩太郎さん 小林由孝さん 小山宏幸さん 佐藤倫さん 齊藤達也さん 酒井喜雄さん 酒巻弘さん 滋野眞さん 関勇治さん 高橋鼓さん 滝沢秀一さん 竹田和徳さん 土屋勝浩さん 土屋陽一さん 成澤厚さん 林秀樹さん 比田井美恵さん 藤森幸路さん 保科茂久さん 三井英和さん 矢島康夫さん 柳澤雄次郎さん 親睦活動・家族委員会 一同

本日喜投額 31名(と親睦活動・家族委員会) ￥ 56,000

累 計 ￥660,000

[例会の記録]

司会：酒巻 弘 会場・出席委員長

斉唱：ロータリーソング

●臨時総会

2028-2029年度RI2600地区ガバナー選出等について

●奨学金授与 金 セハ さん

●会長挨拶 ●幹事報告

●米山奨学生スピーチ 金 セハ さん

(信州大学 繊維学部 機械・ロボット学科4年)

[ラッキー賞]

尾台修一さん(矢島 康夫さんより キルギスのお土産)

金子良夫さん(柳澤雄次郎さんより とらやの羊羹)

滝沢秀一さん(内河 利夫さんより 熱海・伊豆のお菓子)

藤森幸路さん(湯田 勝己さんより 東京駅のお土産)

林 秀樹さん(出田 行徳さんより 台湾のお土産)

酒巻 弘さん(滋野 眞さんより 雪中梅)

小幡晃大さん(林 秀樹さんより 京都のお土産)



[出席報告]

酒巻 弘 会場・出席委員長

	会員数	出席 ベース	出席 者数	出席 免除(b) ()内は 出席者数	出席 免除(a)	メイク アップ ()内は Make up後	出席率
本日 (10/20)	52	52	47 コロナ欠席 0	4(4)			90.38
前々回 (9/29)	53	53	41	4(4)		3(44) コロナ欠席 0	83.02

[次回例会予定]

11月10日(月) 創立記念夜間例会

東近江ロータリークラブ来訪

(10月27日発行)

【会報担当】 柄澤 俊弘 会報委員



原峠保養園で奉仕活動を実施 「地域と仲間の“絆”物語」

10月18日(土)に「原峠保養園」で奉仕事業を実施しました。

活動では、アルティスタ浅間の協力による「サッカー教室」、メンバーによる「BBQの振る舞い」、および「プレゼントの贈呈」が行われました。本事業は多くのメンバーの積極的な参加・支援を得て、「地域と仲間の“絆”物語」を刻む一日となりました。

